



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第9号

2025年8月20日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

「わくわく算数・数学教室」はじまる!!

8月20日（水）いよいよ「2025年度夏休みわくわく算数・数学教室」が始まりました。初日は17名のSPさんが朝、片葩小に元気に来てくれました。大変暑い中来てくださったこと、感謝の気持ちでいっぱいです。中には、「遅れそうだったので……」と、電車をやめて自転車で来てくれたSPさんもありました。その気持ちが有難く、こうしたSPさんたちに支えられている活動だと改めて実感しました。

今年のわく算は、急遽、片葩小以外の子どもたちも参加できることになり、また、今日は初日ということもあって少しバタバタしながら打合せがスタートしました。足早に打合せ事項を確認しつつも、わく算が始まったら“いつも通り”の光景が広がっていました。「おはようございます！」元気なあいさつが会場に響きます。「今年も始まったなあ」と嬉しくなりました。どのSPさんもそんなに細かく説明していなくても、周りを見ながら、こちらの意図を汲んで、臨機応変に対応してくれます。中村コーディネーターも、「本当に来てくれる学生さんたちに支えられている。こんなに対応力のある学生さんがたくさん集まっていることが有難い。」と話していました。初日を支えてくれたSPさん、ありがとうございました!!



暑い昇降口。暑い受付。それでも最高の笑顔で迎えてくれるSPさん。子どもたちもその笑顔でホッとした顔をしていました。

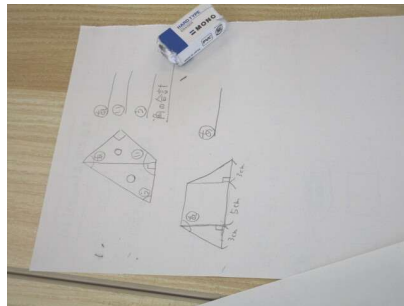
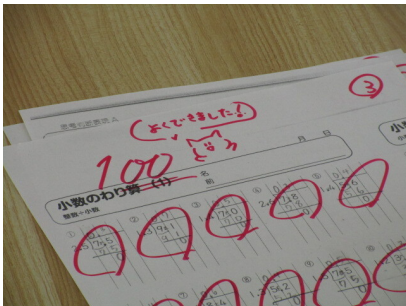


算数教室開始前から関係づくりを始めるSPさん。これで、今回初参加だということから驚きです。子どもたちは話をじっくり聞いてもらえて嬉しそう！子どもたちが「SPさん大好き！」になるのも納得です。



こんなに前のめりに、楽しそうに、自分が何をやりたいかを考えられる。何をやるかを決められる。この素敵な姿をつくったのはSPさんの力。わく算の力です。

今年のわく算も、SPさんと子どもたちの笑顔で溢れていました。最高！こんな子どもたちの笑顔を引き出せるSPさんたちも最高！



採点を工夫したり、自作問題を作ったりしてくれていました。こんな風にも書いてもらえたら、頑張れそうですね。子どもたちはノリノリで学習を進めていました。



机の下には何が……？

疲れて集中力が切れてくる中盤。ここでSPさんそれぞれのセンスが光ります。「よし！ちょっと休憩しよう！」「お茶を飲んでもいいよ。」「何分になったらやれそう？」柔軟にその子その子様子を見取って、声をかけます。



「目の前の子一人一人を大切に。」わく算が始まった当初から大切にしているマインドです。SPさんたちの真剣さ、誠意、優しさは確実に子どもたちに伝わっています。最初は乗り気でなかった子も、最後にはとっても良い笑顔で帰っていきます。